

鳥取市西部地域(青谷地域、鹿野地域)可燃ごみ 収集曜日変更について

鳥取市環境下水道部生活環境課

○収集曜日変更の経緯と目的について

ながおクリーンステーションは平成29年3月末に稼働期限を迎えます。設備の耐用年数を超えて使用しているため、修繕を行いながら運転していますが、いつ老朽化による稼働停止になってもおかしくない状態です。

現在鳥取西地域では、可燃ごみの運搬量が1日に20トンを超える日もあれば10トンに満たない日もあります。ながおクリーンステーションが稼働中は、運搬距離が短いので1日に何度も往復することが可能ですが、使用できなくなった場合は鳥取市の他の施設に運搬するため、1日に限られた回数で運搬することになります。

ながおクリーンステーション稼働停止後の収集運搬の効率化や、収集経費増の抑制を図るため、収集運搬委託業者と研究・協議した結果、青谷地域と鹿野地域の収集曜日を入れ替えることにより、1日の運搬量の平準化(1日10トンから17トン程度の間)にする事前対策を行うという判断に至りました。

青谷地域、鹿野地域の皆様には慣れるまでの間大変ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

○青谷地域収集曜日変更概要

現在可燃物収集を行っている火曜日・金曜日を、月曜日・木曜日に変更する。

(日置・日置谷・中郷地区)

	月	火	水	木	金
変更前	小型 資源	可燃 フラ トレイ		ペット (第1第3)	可燃
変更後	可燃 小型 資源	フラ トレイ		可燃 ペット (第1第3)	

(勝部・青谷地区)

	月	火	水	木	金
変更前		可燃 フラ トレイ		ペット (第1第3)	可燃 小型 資源
変更後	可燃	フラ トレイ		可燃 ペット (第1第3)	小型 資源

※月曜日が祝日の場合でも可燃ごみの収集は行います。(年末年始を除く)

○実施の時期 平成28年4月4日(月)より実施



～青谷地域にお住まいの皆さまへ～

可燃ごみの収集曜日が変わります。

ながおクリーンステーションは、平成29年3月末に稼働期限を迎えます。

運転停止後は、可燃ごみを鳥取市内の他の施設へ搬入するため、今のように何度も往復することができなくなり、1日に限られた回数で運搬することになります。

現在鳥取西地域では、可燃ごみの運搬量が1日20トン以上の日もあれば、10トンに満たない日があります。ながおクリーンステーション稼働停止後の収集運搬の効率化や、収集経費増の抑制を図るため、青谷地域と鹿野地域の収集曜日を入れ替え、1日の運搬量を平準化（1日10トンから17トン程度の間）にする事前対策を行う必要があります。

よって、以下のとおり可燃ごみの収集曜日を変更します。

変更内容

(現在の可燃ごみ収集曜日)

火曜日・金曜日



(変更後の可燃ごみ収集曜日)

月曜日・木曜日

平成28年4月4日(月)より変更します。

○月曜日が祝日の場合でも可燃ごみの収集は行います。(年末年始を除く)

○可燃ごみ以外については、収集曜日の変更はありません。

○詳細は平成28年度ごみの収集計画表（平成28年3月市報と一緒に配付）にてご確認ください。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先

鳥取市役所生活環境課 TEL (0857)20-3217

青谷町総合支所市民福祉課 TEL (0857)85-0012

可燃ごみ運搬量のバランス調整(収集曜日変更案)

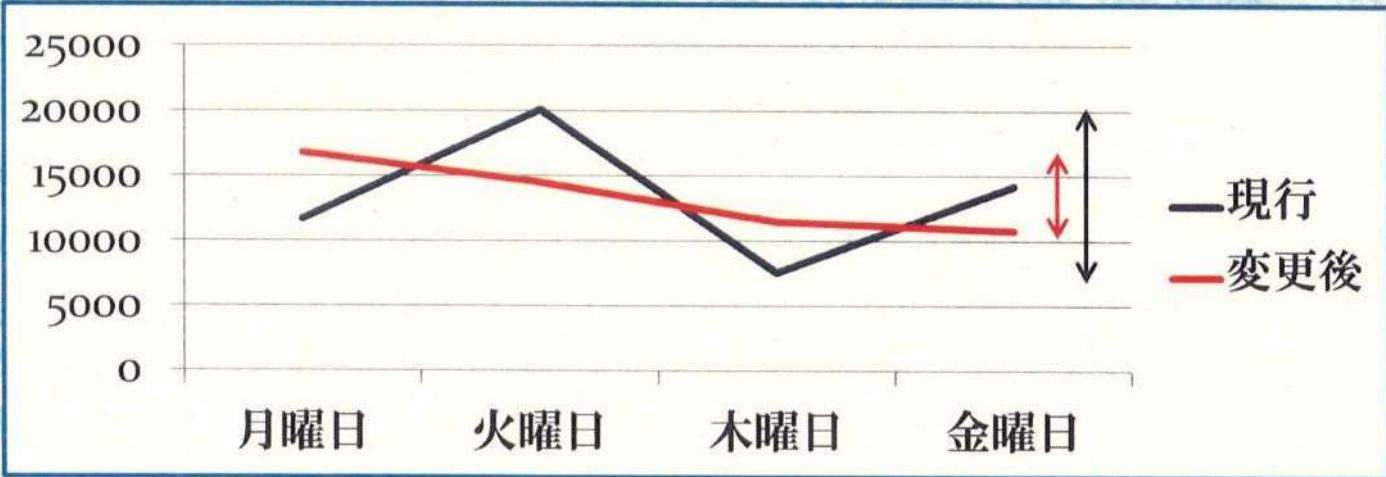
**現在の収集曜日・地区での
曜日ごとの可燃物平均運搬量
(2014年度参考)**

月木 宝・瑞・鹿	月曜日	約 11,700 kg
	火曜日	約 20,100 kg
火金 浜・逢・青	木曜日	約 7,600 kg
	金曜日	約 14,200 kg



**青谷と鹿野の収集曜日
を変更した場合の平均運搬量
(2014年度参考)**

月木 宝・瑞・青	月曜日	約 16,600 kg
	火曜日	約 14,500 kg
火金 浜・逢・鹿	木曜日	約 11,500 kg
	金曜日	約 10,800 kg



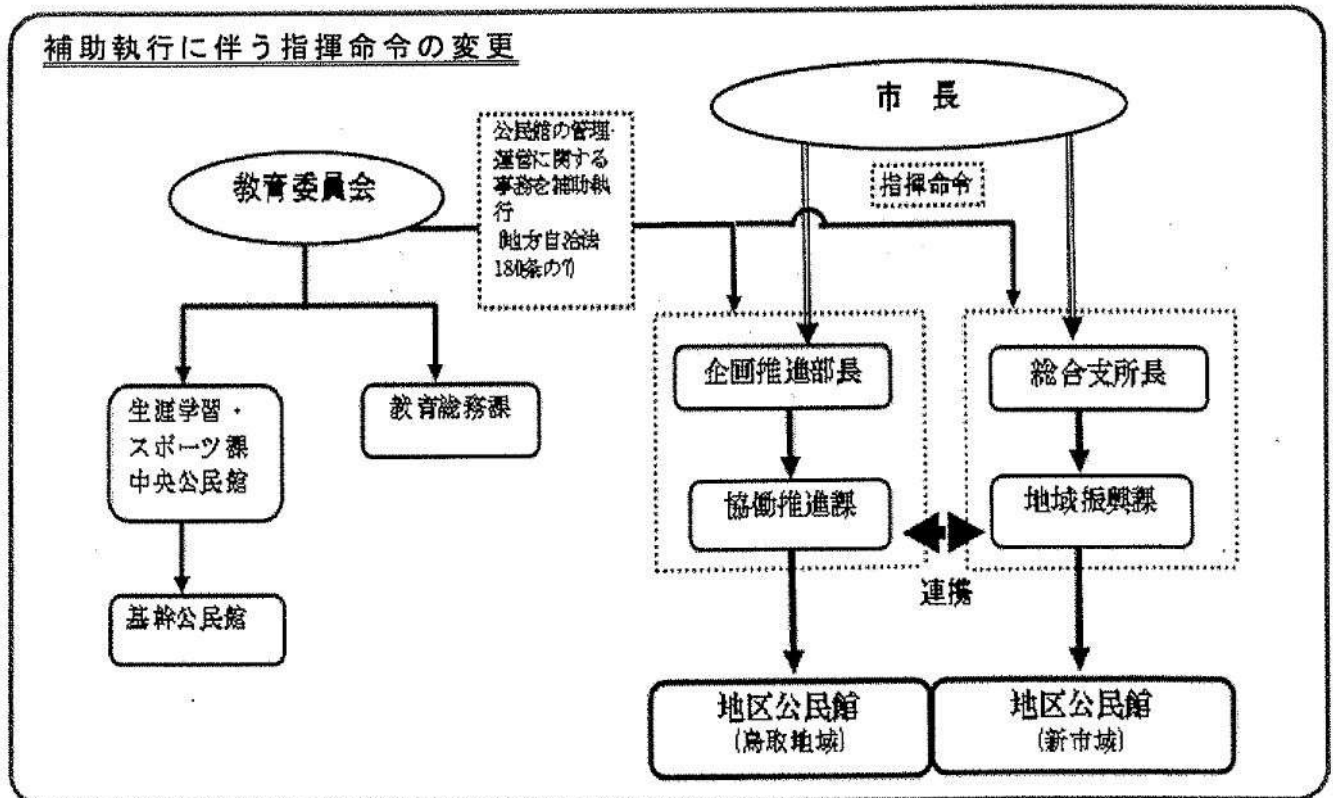
基幹公民館（新市域の中央公民館）の位置付けについて

鳥取市教育委員会 生涯学習・スポーツ課

1 基幹公民館の位置付け検討に関する経緯

市町村合併時に旧市域にあった“中央公民館”は、地域の生涯学習の推進に影響がないようにとの観点から、暫定的に各地域の『基幹公民館』として位置付けられた。

その後、平成20年4月に地区公民館に関する業務が市長部局に補助執行され、基幹公民館が担ってきた「地域内の地区公民館を統括する」という役割も大きく変化してきた。



※「地区公民館事務の手引き」より

<これまでの検討経過>

- H16.11 基幹公民館設置
- H20.4 地区公民館業務を教育委員会から市長部局へ補助執行
- H21.1 『分室のあり方検討会議』で“基幹公民館は当面存続”と確認
- H23.1 『分室のあり方検討会議』で“分室は存続、分室と基幹公民館の職員を兼務”と決定
- H23.4 教育委員会分室と基幹公民館の職員兼務スタート
中央公民館長会議で『改めて基幹公民館のあり方を検討』と確認

2 現状の課題

- 地区公民館の管理運営に関する業務が市長部局に補助執行されたことにより、基幹公民館の設置目的が不明確となった。
- 基幹公民館と教育委員会分室が、それぞれの立場で同一の地域（旧町村を単位とした地域）を対象に事業を実施していることにより、地域住民からみるとそれぞれの役割等が不明確となっている。
- 地域住民の文化の向上と福祉の増進の観点で、公共施設をより有効に利活用するニーズが広がる中で、基幹公民館は営利を目的とした事業等に利用することはできない（社会教育法第23条）。

など

3 位置付けの見直し

① 条例上の位置付けについて

地域の様々なイベント等でより一層利活用が可能な施設とするため、基幹公民館を、現在の『鳥取市公民館条例』から『鳥取市コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例』に基づく施設に移管することを基本とする。

※コミュニティ施設：地域住民の文化の向上と福祉の増進に寄与することを目的に設置している施設

② 実施事業について

現在、基幹公民館が実施している事業は、全て教育委員会分室の事業とすることを基本とする。

③ 職員配置について

基幹公民館の嘱託職員を分室職員とする。（実質の職員数・体制は変更しない。）

4 今後の予定

- H27.10 各地域の地域振興会議で意見交換
- H27.11 各教育委員会分室で方針を検討
関係条例の改正準備
- H28.2 平成28年2月議会に関係条例を提案
- H28.4 基幹公民館の位置付け変更

税金に関する個別相談会（案）

＜市民税・所得税を中心に＞

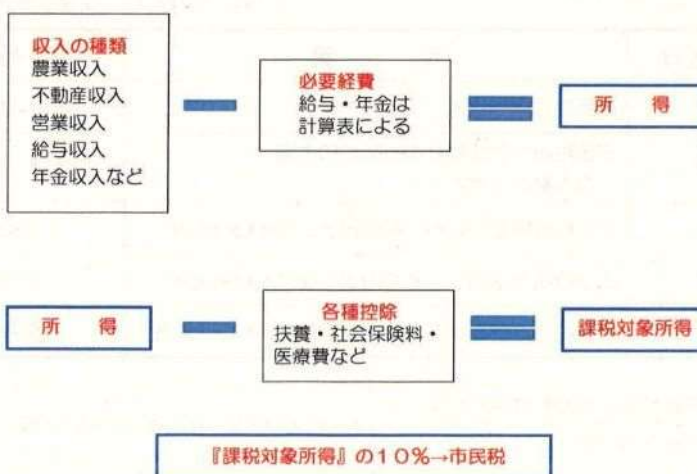
私たちの暮らしの中で、医療費や介護保険料、保育料などさまざまな支払い額について、自分の世帯が住民税課税世帯なのか、非課税世帯なのかにより負担する金額が決まります。税金のことについて知っていただく機会を次のとおり計画しました。

市民税申告、所得税確定申告前の事前相談会としてご利用いただければ幸いです。

- ◎開催予定・・・平成28年1月中旬～下旬の間に5日程度
(平日午後6時～8時)
- ◎開催場所・・・市民福祉課 窓口
- ◎対応体制・・・3席対応(受付順に)
- ◎所要時間・・・一人あたり30分を目安

———— 青谷町総合支所 ————

市民税の計算方法



保育料の例

夫・妻・子2人の世帯
 (調整控除考慮せず)
 夫=会社員(給与収入4,000,000円)
 妻=専業主婦(収入なし)
 子=小学1年生
 子=3歳

給与収入4,450,000円⇒給与所得3,020,000円

3,020,000円-基礎控除330,000円-配偶者控除330,000円
 -扶養控除330,000円×2人-社会保険料控除700,000円=
 1,000,000円
 1,000,000円×10%=100,000円・・・市民税

面倒だから、還付も少ないから等の理由で、生命保険料や地震保険料等の控除出来る支払いがあるのに「年末調整や確定申告」をしないケースもある。

給与収入4,450,000円⇒給与所得3,020,000円

3,020,000円-基礎控除330,000円-配偶者控除330,000円
 -扶養控除330,000円×2人-社会保険料控除700,000円-
 生命保険料控除50,000円=950,000円
 950,000円×10%=95,000円・・・市民税

生命保険料控除
 50,000円

保育料金額表 (区分抜粋)

3歳以上児保育料 (保育標準時間)

階層区分	定 義	金 額
B2	市民税非課税世帯	4,800
C2	市民税所得割課税額48,600円未満 (均等割のみ含む)	13,200
D1	市民税所得割額48,600円以上72,800円未満	18,800
D2	市民税所得割額72,800円以上97,000円未満	22,000
D3	市民税所得割額97,000円以上133,000円未満	27,000

C2 (市民税課税・所得税非課税世帯)	月額5,600円、年間67,200円の差
D1 (所得税課税世帯)	
D2 (所得税課税世帯)	月額5,000円、年間60,000円の差
D3 (所得税課税世帯)	

国保高額療養費の例

夫・妻の世帯

(調整控除考慮せず)

夫=68歳(年金収入1,570,000円)

妻=66歳(年金収入1,000,000円)

夫の年金収入1,550,000円⇒年金所得370,000円

妻の年金収入1,000,000円⇒年金所得0円

夫・妻とも**所得税**は380,000円の基礎控除があり**非課税**となるため、申告しない世帯がある。

しかし、このままでは**市民税課税**となってしまうため、妻を配偶者控除すれば市民税も非課税となる。

市民税均等割・所得割の非課税限度額表

※家族数=本人+控除対象配偶者+扶養数

家族数(本人含む)	均等割 (合計所得金額)	所得割 (総所得金額等)
1人	315,000円	350,000円
2人	819,000円	1,020,000円
3人	1,134,000円	1,370,000円
4人	1,449,000円	1,720,000円

国保高額療養費

1ヶ月の医療費が限度額を超えた場合同じ月内の医療費の自己負担額が限度額を超えた場合、申請をして認められれば、その超えた分が支給されます。なお、診療月の翌月の1日から2年たっても申請されないと支給されません。

70歳未満の例

区分	国保世帯全体
上位所得者	150,000円+(医療費-500,000円)×1%
一般	80,100円+(医療費-267,000円)×1%
市民税非課税世帯	35,400円

上位所得者とは、基礎控除(33万円)後の総所得合計金額が600万円を超える世帯(国保加入者のみ)

★医療費が267,000円以下であった場合、一般と市民税非課税世帯とでは入院時の月額自己負担額に**44,700円**の差があります。

配偶者特別控除・老年者控除等の縮減・廃止

所得税

配偶者特別控除（平成16年分）・・・最高38万円

老年者控除（平成17年分）・・・50万円

公的年金控除額削減（平成17年分）

住民税

配偶者特別控除（平成17年度分）・・・最高33万円

老年者控除（平成18年度分）・・・48万円

公的年金控除額引き下げ（平成18年度分）

老年者非課税措置廃止（平成18年度分）

（125万円以下の65歳以上）

このように控除が廃止されたり、削減され、実質、所得額・課税所得が増額となり、税額は増えている。また、これらの制度が導入される前は、申告しなくても非課税であった方でも課税となっている方がある。

夫の所得税の例(70歳夫・妻2人世帯、妻年金収入1,000,000円→所得0円)

導入前 年金収入3,000,000

年金所得1,500,000－配偶者控除480,000－配偶者特別控除380,000－老年者控除500,000
－基礎控除380,000＝△240,000⇒**所得税0円**

導入後 年金収入3,000,000

年金所得1,800,000－配偶者控除480,000－基礎控除380,000＝940,000⇒**所得税94,000円**

保険証扶養と税扶養の関係

- 保険証の扶養認定は、収入額が概ね1,300,000円未満とされています。
（年金収入がある60歳以上の方は1,800,000円未満）この額を超える場合は国民健康保険に加入する必要があります。
- 会社を退職された場合、国民健康保険の加入手続きをする前に、家族の方どなたかの社会保険等に加入できないか確認していただくのが最優先です。
- 保険証では扶養認定されなくても、所得税（市民税）上の扶養控除は所得380,000円以下であれば対象となります。
- 遺族年金や障害者年金収入が1,800,000円を超えれば保険証の扶養にはとれませんが、元々障害者年金、遺族年金は非課税所得ですので、他の所得がなければ所得額は0円になるため税上の扶養控除の対象となります。

40歳	農業収入	1,500,000	保険証扶養	税扶養控除
	農業所得	250,000	×	○
64歳	年金収入	1,500,000	保険証扶養	税扶養控除
	年金所得	750,000	○	×
65歳	年金収入	1,500,000	保険証扶養	税扶養控除
	年金所得	300,000	○	○
64歳	障害者年金収入	1,500,000	保険証扶養	税扶養控除
	障害者年金所得	0	○	○

住宅用地と非住宅用地の固定資産税額の違い

ABCそれぞれに住宅が建っていたが、Cさんが住宅を取り壊し(更地)、半分ずつをAさんとBさんが購入した。その後Aさんはブロック塀(一部でも可)を取り壊し、既存の土地と往来が可能となり、自家用車を止め、洗濯物を干したり、子どものブランコを置いている。Bさんはそのままの状態にしている。

★Aさんは購入した土地を住宅用として、既存の土地と一体利用しているため、住宅用地となる。Bさんは既存の土地との一体利用をしておらず、一つの土地として区分してあるため非住宅用地となる。



青谷町駅前の例 (H26価格)

ABとも

固定資産評価額 $15,700\text{円}/\text{m}^2 \times 120\text{m}^2 \times \text{特例}1/6 \times \text{税率}1.5\% = 4,710\text{円}$ (弥生町 21,780円)

購入した土地A側

固定資産評価額 $15,700\text{円}/\text{m}^2 \times 60\text{m}^2 \times \text{特例}1/6 \times \text{税率}1.5\% = 2,355\text{円}$ (弥生町 10,890円)

購入した土地B側

固定資産評価額 $15,700\text{円}/\text{m}^2 \times 60\text{m}^2 \times 70\% \times \text{税率}1.5\% = 9,891\text{円}$ (弥生町 45,738円)

生活実態調査集計のサンプル

1-1 あなたのお住まいの地区

	回答数	構成比	総世帯数
(1) 日置	0	0.0%	
(2) 日置谷	0	0.0%	
(3) 勝部	0	0.0%	
(4) 中郷	0	0.0%	
(5) 青谷	91	75.83%	120
小計	91	75.83%	
無回答	29	24.17%	
計	120	100.0%	

1-3 同居の家族の世代

	回答数	構成比
(1) 夫婦又は単身	42	47.73%
(2) 二世帯	31	35.23%
(3) 三世帯	14	15.91%
(4) 四世帯	1	1.14%
計	88	
無回答	3	

2-2 2-1の「進学・就職で転出したいと考えておられる方」をご記入した方にお尋ねします。それはどのような理由で転出しますか。あてはまるものを全てお選びください

	回答数	構成比
(1) 地元で希望の進学先がないため	2	33.3%
(2) 地元で希望の就職先がないため	2	33.3%
(3) 市外に出てみたいため	1	16.7%
(4) 県外に出てみたいため	1	16.7%
(5) その他	0	0.0%
計	6	
無回答	88	

2-3 今後もあなたは現住所に住み続ける予定ですか

	回答数	構成比
(1) これからも住み続けたい	63	76.8%
(2) 住みたくないが住む	9	11.0%
(3) 住みたいが転出しないとイケない	1	1.2%
(4) 転出する	1	1.2%
(5) 決めていない	8	9.8%
計	82	
無回答	9	

2-4 2-3で「これからも住み続けたい」「住みたくないが住む」と答えた方にお尋ねします。下記の選択肢からあてはまるものを全てお選びください

	回答数	構成比
(1) 先祖から受け継いだ田畑・山林がある	12	4.9%
(2) 家や土地がある	62	25.3%
(3) 先祖の墓がある	43	17.6%
(4) 仏壇・位牌の移動先が無い	6	2.4%
(5) どなり近所の付き合いがある	18	7.3%
(6) 励みになるような楽しみがある（お祭りなど	7	2.9%
(7) .ここに住んでいないと仕事ができない	3	1.2%
(8) 経済的な余力が無い	13	5.3%
(9) 生活環境が良い	18	7.3%
(10) 親類や友人がいる	26	10.6%
(11) . 汽車やバス等の便が良い	6	2.4%
(12) 生まれ育ったところだから	29	11.8%
(13) その他	2	0.8%
計	245	
無回答	24	

2-5 2-3で「住みたいが転出しないとイケない」「転出する」と答えた方にお尋ねします。下記の選択肢からあてはまる理由を全てお選びください

	回答数	構成比
(1) 不便なため	1	20.0%
(2) 子育てに不安があるため	0	0.0%
(3) 就職先が無いため	1	20.0%
(4) 就職先が無いため	1	20.0%
(5) 田舎に魅力が無いため	0	0.0%
(6) 隣近所との付き合いが無いため	0	0.0%
(7) 生活環境が悪いため	0	0.0%
(8) 市街で暮らしたいため	0	0.0%
(9) 家を修繕しないとイケないが修繕してまで住	0	0.0%
(10) 1人暮らしになるため（家族がいなくなるた	2	40.0%
(11) その他	0	0.0%
計	5	
無回答	88	

3-1 家族内に後継者はいますか。

	回答数	構成比
(1) はい	56	63.6%
(2) いいえ	21	23.9%
(3) わからない	11	12.5%
計	88	
無回答	3	

3-2 3-1で「はい」と答えた方にお尋ねします。その方とは現在 同居ですか。別居ですか。(※同居と答えられた方は3-3に 別居と答えられた方は3-4 3-5にお進みください)

	回答数	構成比
(1) 同居	29	46.0%
(2) 別居	34	54.0%
計	63	

3-3 3-2で後継者と「同居」していると答えた方にお尋ねします。下記の選択肢からあてはまる理由を全てお選びください。

	回答数	構成比
(1) 家族の面倒をみるため	18	27.3%
(2) 就職先があるため	13	19.7%
(3) 先祖からの財産があるため	5	7.6%
(4) 近所の付き合いがあるため	4	6.1%
(5) 先祖の墓があるため	10	15.2%
(6) 家の維持管理のため	12	18.2%
(7) その他	4	6.1%
計	66	

3-4 3-2で後継者と「別居」していると答えた方にお尋ねします。後継者の方はそのような理由で別居されていますか。下記の選択肢からあてはまる理由を全てお選びください

	回答数	構成比
(1) 交通が不便なため	3	8.1%
(2) 食料品を買いに行くのに不便なため	0	0.0%
(3) 病院に通うのに不便なため	1	2.7%
(4) 子育てに不安があるため	1	2.7%
(5) 就職先がないため	12	32.4%
(6) 集落に魅力がないため	2	5.4%
(7) 集落外での生活 人間関係があるため	4	10.8%
(8) 家の維持管理にお金がかかるため	0	0.0%
(9) その他	14	37.8%
計	37	

3-5 3-2で後継者と「別居」していると答えた方にお尋ねします。現在お住まいの家は将来どうなるのか下記の選択肢からあてはまる理由を全てお選びください

	回答数	構成比
(1) 空き家となってしまう	9	25.0%
(2) 取り壊す予定である	2	5.6%
(3) 誰かに貸したい	2	5.6%
(4) 売りたい	3	8.3%
(5) その他	20	55.6%
計	36	

3-6 あなたを将来 介護してくれる人がおられますか。下記の選択肢からあてはまるものを3つまでお選びください。

	回答数	構成比
(1) 後継者	43	31.9%
(2) 後継者以外の家族	19	14.1%
(3) 親戚	4	3.0%
(4) ホームヘルパー	25	18.5%
(5) デイケアサービス	28	20.7%
(6) ボランティア	1	0.7%
(7) 近所の人	1	0.7%
(8) 集落内の互助組織	1	0.7%
(9) その他	13	9.6%
計	135	
無回答	12	8.2%

4-1 他人と連絡をとるための手段を全てお選びください

	回答数	構成比
(1) 固定電話	76	32.3%
(2) FAX	14	6.0%
(3) 携帯電話	75	31.9%
(4) 携帯電話 (メール)	50	21.3%
(5) パソコン (メール)	19	8.1%
(6) その他	1	0.4%
計	235	
無回答	4	1.7%

4-2 普段の生活で情報を得る手段を全てお選びください

	回答数	構成比
(1) 新聞	82	26.1%
(2) テレビ	86	27.4%
(3) ラジオ	29	9.2%
(4) インターネット	38	12.1%
(5) 携帯電話のインターネット	28	8.9%
(6) 図書館利用 (移動図書館も含む)	15	4.8%
(7) 本・雑誌の購入	32	10.2%
(8) その他	4	1.3%
計	314	
無回答	3	0.9%

4-3 普段の買い物(食料品)はどうされていますか。下記の選択肢から利用する頻度の高い順に上位3つご記入ください。

	回答数	構成比
(1) 自分で買い物に行く	82	49.4%
(2) 買い物は家族に頼んでいる	39	23.5%
(3) 家族に連れて行ってもらっている	34	20.5%
(4) 近所の人に連れて行ってもらっている	2	1.2%
(5) 買い物は近所の人に頼んでいる	2	1.2%
(6) 移動販売を利用している	4	2.4%
(7) その他	3	1.8%
計	166	
無回答	5	2.9%

4-4 普段あなたは食料品をどこで買われていますか

	回答数	構成比
(1) 青谷町内	56	63.6%
(2) 鳥取市内	29	33.0%
(3) 鳥取市外	3	3.4%
計	88	
無回答	3	3.3%

4-5 冬場 自宅周辺、生活道路などの雪かきはどのようにしていますか。下記の選択肢から主なものを2つまでお選びください。

	回答数	構成比
(1) 自分がしている	76	53.1%
(2) 家族がしている	50	35.0%
(3) 近所の人がしている	13	9.1%
(4) 集落内の互助組織がしている	2	1.4%
(5) 集落外組織(ボランティアなど)がしている	0	0.0%
(6) 雪かきの必要はあるができていない	1	0.7%
(7) 雪かきの必要が無いのでやっていない	1	0.7%
(8) その他	0	0.0%
計	143	
無回答	4	2.7%

5-1 現在住んでいて不安はありますか。下記の選択肢からあてはまるものを3つまでお選びください。

	回答数	構成比
(1) 病院や買い物に行くのに交通機関が不便	20	14.1%
(2) 身近に買い物ができる場所が無い	12	8.5%
(3) 学校や保育園が遠く 子どもの通学・通園が	2	1.4%
(4) 獣害（イノシシの被害など）がある	7	4.9%
(5) 農地や山林の管理	12	8.5%
(6) 地域活動が大変	7	4.9%
(7) 病気や怪我をしたとき 助けてくれる人がい	7	4.9%
(8) 大きな病院がない	25	17.6%
(9) 除雪が大変	27	19.0%
(10) 生活費	14	9.9%
(11) その他	9	6.3%
計	142	
無回答	18	11.3%

5-2 生活に関して行政に協力してほしいことはありますか。下記の選択肢から主なもの3つまでお選びください

	回答数	構成比
(1) 特に協力してほしいことはない	17	13.7%
(2) バス運行数の増便	6	4.8%
(3) 役所の土日祝日開庁 時間の延長	18	14.5%
(4) 市道 県道以外の生活道路の除雪	50	40.3%
(5) インターネットが繋がる環境整備	6	4.8%
(6) 外灯の整備	22	17.7%
(7) その他	5	4.0%
計	124	
無回答	13	9.5%

6-1 集落内の暮らし 安全について不安に思われることはありますか。下記の選択肢からあてはまるものを3つまでお選びください

	回答数	構成比
(1) 特に不安はない	57	64.0%
(2) 集落内に災害時 避難できる場所がない	2	2.2%
(3) 集落内に災害の発生しやすい場所がある	4	4.5%
(4) 集落内に交通事故の発生しやすい場所がある	4	4.5%
(5) 集落内に騒音悪臭のある場所がある	1	1.1%
(6) 集落内に獣害（イノシシの被害など）がある	6	6.7%
(7) 集落内に川の氾濫する場所がある	0	0.0%
(8) 集落で消防・防犯対策に不安がある	6	6.7%
(9) 何かあったとき集落内で連絡がとれない	4	4.5%
(10) その他	5	5.6%
計	89	
無回答	18	16.8%

6-2 何かあったとき家族内(一緒に住んでいない家族も含む)で連絡は取れる状態ですか

	回答数	構成比
(1) はい	83	94.3%
(2) いいえ	5	5.7%
計	88	
無回答	3	3.3%

7-1 あなたはどれくらい近所付き合いをしていますか

	回答数	構成比
(1) かなりしている	31	35.2%
(2) ややしている	38	43.2%
(3) どちらでもない	8	9.1%
(4) あまりしていない	8	#REF!
(5) ほとんどしていない	3	3.4%
計	88	
無回答	3	3.3%

7-2 集落内で共同作業が行われていますか

	回答数	構成比
(1) はい	72	82.8%
(2) いいえ	9	10.3%
(3) わからない	6	6.9%
計	87	
無回答	4	4.4%

7-3 7-2で「はい」と答えた方にお尋ねします。その活動に参加していますか。

	回答数	構成比
(1) ほとんど参加している	51	70.8%
(2) 時々参加している	18	25.0%
(3) ほとんど参加していない	2	2.8%
(4) 昔は参加していたが今は参加していない	1	1.4%
(5) 今も昔も参加したことがない	0	0.0%
計	72	
無回答	19	20.9%

7-4 集落で行われている共同作業や役回りなどについてどのように感じていますか？

	回答数	構成比
(1) まったく苦にならない	9	10.7%
(2) あまり苦にならない	32	38.1%
(3) どちらともいえない	19	22.6%
(4) やや大変である	19	22.6%
(5) かなり大変である	5	6.0%
計	84	
無回答	7	7.7%

8-1 あなたの住む集落で人口減少の変化を感じますか

	回答数	構成比
(1) 感じる	54	61.4%
(2) 少し感じる	20	22.7%
(3) わからない	8	9.1%
(4) あまり感じない	4	4.5%
(5) 感じない	2	2.3%
計	88	
無回答	3	3.3%

8-2 今後 集落に県外者等の移住を受け入れられますか

	回答数	構成比
(1) できる	34	39.1%
(2) 考えてもよい	19	21.8%
(3) わからない	27	31.0%
(4) あまり気が進まない	3	3.4%
(5) できない	4	4.6%
計	87	
無回答	4	4.4%

8-3 今後 集落を維持 または活性化したいですか

	回答数	構成比
(1) したい	38	44.2%
(2) ややしたい	19	22.1%
(3) わからない	23	26.7%
(4) あまりしたくない	1	1.2%
(5) したくない	5	5.8%
計	86	
無回答	5	5.5%

8-4 今後 集落の維持・活性化に関して行政と協働して取り組みたいですか

	回答数	構成比
(1) 取り組みたい	23	27.1%
(2) やや取り組みたい	23	27.1%
(3) どちらでもない	28	32.9%
(4) あまり取り組みたくない	5	5.9%
(5) 取り組みたくない	6	7.1%
計	85	
無回答	6	6.6%

8-5 今後 集落の維持・活性化のためにしてみたいことはありますか。下記の
 選択肢から主なもの3つまでお選びください

	回答数	構成比
(1) 集落外からの移住を勧める	23	13.4%
(2) 民泊をする	1	0.6%
(3) 集落内の交流を盛んにする	20	11.6%
(4) 集落外と交流を盛んにする	10	5.8%
(5) 他集落と共同活動をする	5	2.9%
(6) 集落内の伝統芸能振興	4	2.3%
(7) 特産品の生産・販売・PR	13	7.6%
(8) 集落内の組織再編 もしくは組織の立ち上げ	6	3.5%
(9) 学校とは別に子供の集まれる遊べる場所の整	16	9.3%
(10) バスに代わるタクシー・代用バス	12	7.0%
(11) 買い物利用の為に商店誘致 もしくは移動販	10	5.8%
(12) 集落内での起業 もしくは企業誘致	13	7.6%
(13) 休耕田・荒れた畑の活用	19	11.0%
(14) NPO法人・ボランティアの受け入れ	3	1.7%
(15) その他	4	2.3%
(16) 特にない	13	7.6%
計	172	
無回答	10	5.5%

青谷高等学校のあり方を考える協議会取組状況について

1. これまでの取り組み

○村岡高校視察

- ・7月9日視察 協議会メンバー6名

○ボランティア活動

- ・海岸清掃、地域伝統活動、浜村駅足湯清掃、青谷駅清掃

○青高卓球部による卓球教室の開催

- ・8月23日開催 参加者 120名

○青高生のイベント参加

- ・全国鳴り砂サミット 青高生 7名参加
- ・青谷ようこそまつり 青高生 10名参加

青高ブースにて学校紹介パネル展示

2. 青谷高校が進める「学校のあり方」

★3つのプロジェクトの立ち上げ

①学校のあり方 PT

- ・高校の魅力を高めるためには・・・地域との連携

②学力向上 PT

- ・真に高校生としての学力を身に着けるには・・・基礎学習の徹底

③体力増進 PT

- ・社会人に必要な心技体を鍛えるには・・・目標意識と着実な努力

目標：平成30年度

◆平成28年度入学生の確実な対策

◆年次的な取り組み

◆確実な出口対策と保障

確かな学力・体力＋総合学科 ⇒ 社会から信頼される学生の育成
思考力・判断力・忍耐力・規範・マナーのUPが底支え

3. 学校説明会

○とりわけ、西部地域3中学校PTA、地域団体への強力なPR

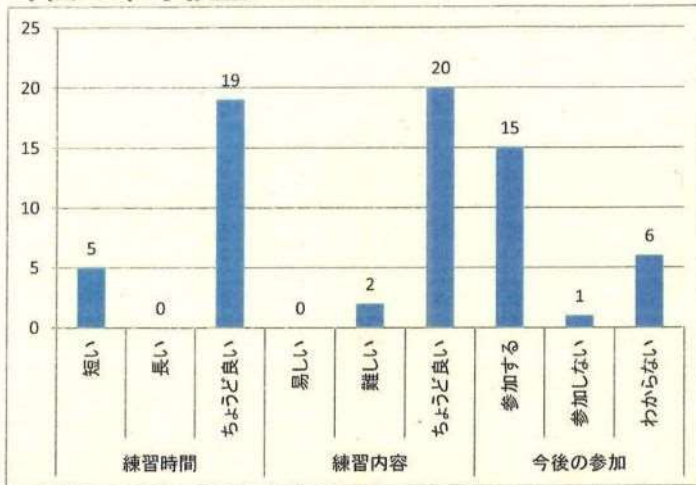
※入学～卒業までの青谷高（総合学科）学校生活の魅力の追究

青谷高校卓球部員による卓球教室 アンケート結果

アンケート回答数 24

(H27.8.23 トレセン)

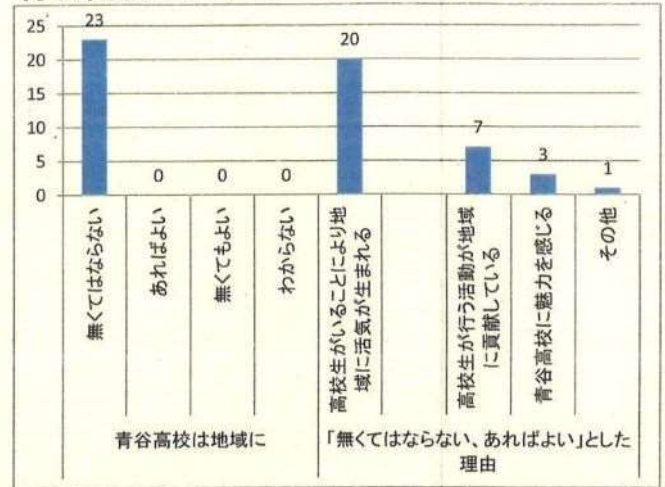
今回の卓球教室について



その他意見

個人のレベルに合わせてほしい

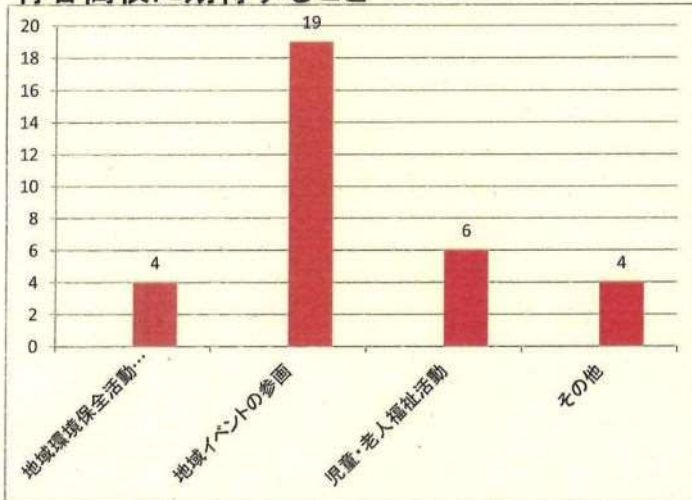
青谷高校について



その他意見

車が止まる

青谷高校に期待すること



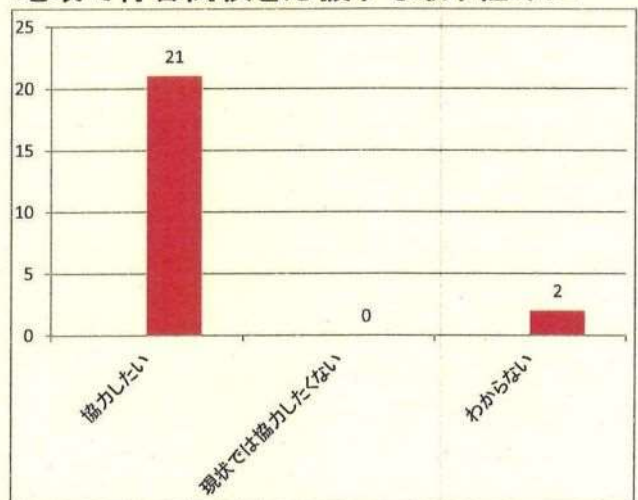
その他意見

魅力ある学校になってほしい

特長を出し、活かしてほしい

自分達のことをしっかりすることが地域の活性化に繋がる

地域で青谷高校を応援する取り組みに



鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

中学生のみなさんへ



Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

青谷高校の位置



倉吉から列車で約20分

鳥取から列車で約30分

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

◆在籍生徒数

	1年次	1年次	3年次	総計
男子	33	38	31	102
女子	43	51	56	150
計	76	89	87	252

◆募集定員

3学級 114名
 推薦入試 30名
 一般入試 84名

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

青谷高校の形 目指すは**人づくり**



社会人として通用する人材育成

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

★ 総合学科

普通教科と専門教科から自分の興味、進路に応じて選択して学習します

1年次生では、全員が**共通科目**を学びます。
2年次生からは、興味・関心や進路を踏まえて**系列(コース)**を選択します。

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

青谷高校の4系列(コース)

文理探究 ビジネス・情報

自由選択科目

福祉・保育・生活科学 芸術文化

Tottori prefectural AOYA high school

文理探究系列 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

「数学B」

- 普通教科中心のカリキュラム
- 進路希望に応じて、文系・理系科目を重点的に学習
- 少人数授業で丁寧な指導
- 大学・短大・看護専門学校をめざす

「日本史B」

Tottori prefectural AOYA high school

ビジネス・情報系列 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

「ビジネス情報」

- ワープロ・表計算の情報処理や簿記など商業系科目を中心に学習
- ビジネスに必要な経済・経営に関する技能や知識を習得
- 大学・短大・専門学校の推薦入試や就職試験に対応

「情報処理」

- 各種検定試験にもチャレンジ
ビジネス文書実務検定(6月・11月・2月)
情報処理検定(9月・1月)
簿記実務検定(1月)

Tottori prefectural AOYA high school

福祉・保育・生活科学系列 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

- 保育・食物・被服など家庭科目や福祉科目を中心に学習
- 大学・短大・専門学校などのAO入試や推薦入試に対応
- 家庭科系の検定試験にも挑戦
食物調理技術検定(7月・11月)
被服製作技術検定(7月)




「子ども文化」

「介護福祉基礎」

Tottori prefectural AOYA high school

芸術文化系列 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

- 美術を中心に音楽・工芸・書道など芸術教科を学習
- 幅広く、深く学ぶことで芸術を表現・鑑賞する技能や知識を習得
- 大学・短大・専門学校などのAO入試や推薦入試に対応




「書道表現」

「工芸 I」

Tottori prefectural AOYA high school

自由選択科目群 (系列に関係なく選べる多様な授業)

「青谷学」 青谷地域の文化や歴史、自然を学習




「生物活用」 畑・ビニールハウスでの農業体験型学習

「スポーツV」
カヌー・マウンテンバイク・釣りなど自然の中でのスポーツ活動



Tottori

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

卒業生の進路

平成26年度卒業生

進路	割合
就職	42%
大学・短大	21%
専門・専修学校	25%
未定	11%

平成25年度

進路	割合
就職	37%
大学・短大	24%
専門・専修学校	28%
未定	10%

平成24年度

進路	割合
就職	34%
大学・短大	21%
専門・専修学校	44%
未定	1%

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

おもな進路先 (平成25・26年度卒業生)

国公立大学
 広島市立大学(国際学部) 鳥取環境大学(環境学部)

私立大学
 福岡歯科大学 大阪産業大学(デザイン工学部)
 京都外国語大学(外国語学部) 近畿大学(法学部)

短期大学
 鳥取短期大学(幼児教育保育、国際文化交流、生活学科)
 美作大学短期大学部(幼児教育学科)
 奈良芸術短期大学(美術科) 他

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

専門学校
 県立鳥取看護 県立倉吉総合看護
 県立歯科衛生 県立歯科技工 鳥取社会福祉
 鳥取県理容美容高等 津山中央看護
 岡山・建部医療福祉(看護) 岡山高等歯科衛生
 京都府医師会看護 大阪医療福祉(作業療法士) 他

就職
 グッドヒル マルイ 大山乳業農業協同組合
 鳥取いなば農業協同組合 望湖楼 サングルメ
 鳥取県農協共済福祉事業団 三晃 他

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

青谷海岸清掃




掃除に学ぶ会

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>



青高祭

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 **国際シンポジウム**

世紀に生きるアジアの一員として
21世紀に生きるアジアの一員として

日中韓高校生 国際シンポジウム

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

強歩大会

YA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

修学旅行

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

部活動(運動部)

卓球
バスケットボール
バレーボール
ソフトテニス
陸上競技
野球
弓道
サッカー
バドミントン

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

部活動(文化部・同好会)



美術 書道
演劇 放送
茶道 華道
吹奏楽
部落解放研究
ビジネスライセンス
JRC ESS

Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

こんな生徒を求めています!

- 得意なことをどんどん伸ばしたい
- ★興味・関心がある分野をもっと深めたい
- ◆進学か就職か、将来についてじっくり考えたい
- ◆部活動やボランティア活動に取り組みたい
- ★卒業後、できれば地元で進学・就職したい



Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

自分の可能性を発揮しよう

鳥取県立青谷高等学校



Tottori prefectural AOYA high school

鳥取県立青谷高等学校 <http://cmsweb1.torikyo.ed.jp/aoya-h/>

おわり

ありがとうございました

Tottori prefectural AOYA high school